

## 消費者教育教材「きいちゃんと学ぼう！消費生活マーク・マスター」活用状況アンケート結果

## 【実施時期】

令和元年10月

## 【対象校・機関】

258（公立小学校238校、特別支援学校12校、私立小学校2校、教育支援事務所等6機関）

## 【回答数】

145（公立小学校138校、特別支援学校4校、私立小学校1校、教育支援事務所等2機関）

## 【結果】

（複数回答可）

① 活用 状況	年度前半	児童が活用	53
		授業で活用	55
		上記以外の活用	6
		活用実績無し	59
	年度後半	活用予定あり	86
		活用予定無し	50
② 対象 年齢	小学生（3、4年生）という年齢設定は適切		76
	小学生（5年生）が適切		63
	小学生（6年生）が適切		55
	中学生（1年生）が適切		6
	中学生（2年生）が適切		6
	中学生（3年生）が適切		6
	高校生が適切		3
	高校生以上（専門学校、大学等）が適切		1
	社会人向けの教材としての活用が適切		0
③ 提案 ・ アイ デア 等	地域や学校でゲーム大会を実施し、皆が教材に親しめるようにする		48
	学童保育で活用		39
	子供向けではなく高齢者等に活用 （認知症予防等の保健福祉の視点から、高齢者サロン等で活用）		18
	家庭に貸し出す		23
	臨時的に子供が集まる場所へ貸し出す（子ども食堂など）		28
	クラブ活動に取り入れる		14
	子育てサークルに貸し出す		9
	地域の行事で活用（高齢者と子供がふれあえる行事等での対戦）		29
	修学旅行や遠足などの際に活用		8
	ゲームではなく、知識を増やすための教材として活用 （マークを自由研究のテーマにする等）		52

## ①活用状況

### 【年度前半の具体的な活用状況】

#### ○ 授業で活用

1,2年生 特別活動

3年生 国語科「気になる記号」、社会科、総合的な学習

4年生 社会科「ごみのしまつと活用」、「リサイクル」、総合的な学習の時間

5年生 家庭科「買い物名人になろう」、「かたづけよう身のまわりの物」

6年生 社会科、家庭科「衣服を整えよう」

県特産物の学習、環境の分野(リサイクル)

#### ○ 授業以外で活用

雨の日に活用

学級に置き、休憩等で活用

校長室で百人一首、将棋等と共に自由に遊ぶ道具の1つとして

ポスターは廊下に提示し、手洗いや歯磨きしながら見られるように

児童が家庭学習に活用

### 【年度後半の活用内容】

#### ○ 授業で活用

3年生 社会科、総合的な学習

4年生 社会科、「わたしたちの住んでいる県」、総合的な学習、国語科「よりよくかかわり合うために」

5年生 家庭科「じょうずに使おうお金と物」、社会科「環境学習」「情報化社会と生きる」

社会科「スーパーマーケットではたらく人々」

6年生 家庭科「物を大切に使う」、社会科「国民の暮らし」

「買い物のしかたを考えよう」、「店のしごと」

総合的な学習、道徳(体の不自由な方のためのマーク)

#### ○ 授業以外で活用

雨の日の遊び道具として

興味ある児童が自由に使える環境にしておく(給食準備中や図書コーナー等)

朝学で活用

学級遊びとしてゲームの仕方を紹介

児童会のイベントで使用

なかよし学級で活用

### 【活用予定なしの理由】

年度前半に活用したため

関連づけられる教科・単元がなかったため

時間が確保できない、授業優先のため、教育計画に位置づけていない

児童の実態に合っていない

休み時間等に児童が活用しているので、授業では扱わない

難しいマークが多いため

## ③提案・アイデア等

### 【その他の具体的な活用方法】

土曜教室、保護者懇談会などで活用

授業で楽しく活用し、その後休憩時間などで使えるようにし、その上で家庭に貸し出す。

この教材を参考に、図工でオリジナルマークをデザインするのも楽しそうです。

家庭科や環境教育の延長上での活用が良いと思います。

もう少し数量があると別の活用も検討できるかと思います。

小学生でも扱えるマークもあるが、多岐にわたり難しいものもあるので、中学生以上での活用が望ましい。

マークによっては、社会科、英語科、家庭科で利用できるかと思います。

家庭に貸し出すことによって保護者(大人)にもマークが浸透できるのではないかと。

学校へ相当数配布いただければ家庭への貸出を検討します。